

「保健」学習指導案

学 校 名 吹上高等学校

日 時 令和3年12月16日(木) 6時限

実施学級 電気科第1学年15名(男子15名)

授 業 者 谷山 宗敬

1 単元名

(1) 現代社会と健康 エ 交通安全 (ア) 交通事故の現状

2 単元の目標

ア 交通事故の現状，交通社会に必要な資質と責任及び安全な社会づくりに関する資料を探したり，見たり，読んだり，課題の解決に向けての話し合いや意見交換をしたりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとすることができるようにする。

イ 交通事故の現状，交通社会に必要な資質と責任及び安全な社会づくりに関する資料等で調べたことを基に課題を整理したり，学習したことを，個人及び社会生活や事例と比較したり，分析したりするなどし，道筋を立ててそれらを説明することができるようにする。

ウ 交通事故を防止するには，車両の特性の理解，安全な運転や歩行など適切な行動，自他の生命を尊重する態度，交通環境の整備などが関わること，交通事故には責任や補償問題が生じることを理解することができるようにする。

3 単元の特性

我が国の疾病構造や社会の変化に対応して，健康の考え方も変化するとともに，様々な健康への対策，健康増進の在り方が求められている。したがって，健康を保持増進するためには，一人一人が健康に関して深い認識をもち，自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることを理解できるようにする必要がある。また，個人の行動選択やそれを支える社会環境づくりなどが大切であるというヘルスプロモーションの考え方に基づいて現代社会の様々な健康問題に関して理解できるようにする必要がある。

4 生徒の実態

高校入学から約半年が過ぎ，学校生活にも慣れ，学級全体が和気藹々とした雰囲気でも過している。また，素直で明るい性格の生徒が多く，授業内での発言も積極的に行われる学級である。しかし，学力には大きな差があり，授業内容の理解や知識の定着のためには個別の対応が必要な場合もある。

5 授業の構成

授業形態は，教室での一斉授業を基本としているが，内容に応じて少人数グループでの話し合いや実験などを行っている。グループ学習では，役割を決めて一人ひとりがグループ内で発言する機会を与え，意見交換を積極的に行うことができるように指導をしている。これらの活動では，生徒同士の関わり合いを持つことで，幅広い視点で物事を捉えることができる力の育成を重視している。また，年間を通じてICT機器を活用し，視聴覚教材等の参考資料を用いた授業を行い，保健に関する興味関心を高められるような工夫を行っている。ま

た、授業の最後にはノートやワークシートを用いて、内容に応じた確認テストを行い、理解を深めさせている。

6 評価規準

	関心・意欲・態度	思考・判断	知識・理解
領域の 評価規準	現代社会と健康について、健康を保持増進するためには、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることに関心をもち、学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	現代社会と健康について、健康を保持増進するための課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、総合的に考え、判断し、それらを表している。	現代社会と健康について、健康を保持増進するための課題の解決に役立つ自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくための基礎的な事項を理解している。
単元の 評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故の現状、交通社会に必要な資質と責任について、資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 ・安全な社会づくりについて、課題の解決に向けての話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故の現状、交通社会に必要な資質と責任について、資料等で調べたことを基に、課題を見付けたり、整理したりするなどして、それらを説明している。 ・安全な社会づくりについて、学習したことを個人及び社会生活や事例と比較したり、分析するなどしている。また、筋道を立ててそれらを説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故を防止するには、車両の特性の理解、安全な運転や歩行など適切な行動、自他の生命を尊重する態度、交通環境の整備などが関わること、交通事故には責任や補償問題が生じることについて、理解したことを発言したり、記述したりしている。
学習活動に 即した 評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ①交通事故の現状、交通社会に必要な資質と責任について、資料を見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 ②安全な社会づくりについて、課題の解決に向けての話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①交通社会に必要な資質と責任について、交通事故の現状を踏まえ、資料等で調べたことを基に、課題を見付けたり、整理したりするなどして、それらを説明している。 ②交通事故や自然災害などによる傷害がない安全な社会づくりについて、その対策等を、これまでの自分の住んでいる地域の事例と比較したり、分析したりするなどして、筋道を立ててそれらを説明してい 	<ul style="list-style-type: none"> ①交通事故には、車両の特性、当事者の意識や行動、周囲の環境が関連していることについて、理解したことを発言したり、記述したりしている。 ②交通事故を防止するには、自他の生命を尊重するとともに、自分自身の心身の状態や車両の特性の把握、個人の適切な行動が必要であること及び交通事故には責任や補償問題が生じることについて、理解したことを記述している。

		る。	③安全な社会づくりには、環境の整備が重要であることについて、理解したことを発言したり、記述したりしている。
--	--	----	---

7. 指導と評価の計画

	ねらい・主な学習活動	具体の評価規準			評価方法
		関・意・態	思・判	知・理	
1 (本時)	<p>(ねらい) 我が国の交通事故の状況を知り、事故には、車両の特性、当事者の行動や規範を守る意識、周囲の環境などが関連していることを理解できるようにする。</p>				
	<p>(学習活動)</p> <p>1. 我が国の交通事故の発生状況について、資料統計などから近年の傾向を知る。</p> <p>2. 参考資料を読み取り、若者と高齢者の交通事故の特徴について知る。</p> <p>3. 交通事故の具体的な事例から、その要因について挙げ、グループで話し合う。</p> <p>4. 交通事故が発生する要因を当事者、車両、環境の三つの要因で分類し、整理する。</p> <p>5. 交通事故の現状と要因についてまとめる。</p>	① ①		①	<p>・観察</p> <p>・観察</p> <p>・観察</p> <p>・ワークシート</p>
2	<p>(ねらい) 交通事故を防止するには、自他の生命を尊重するとともに、自分自身の心身の状態や車両の特性などを把握すること及び個人の適切な行動が必要なこと、交通事故には責任や補償が生じることを理解できるようにする。</p>				
	<p>(学習活動)</p> <p>1. 自分の体験した事故や事故になりそうな事例を挙げ、その時の心身の状態や行動について振り返り、ワークシートに記入する。</p> <p>2. 運転者の規範意識の欠如が引き起こす危険運転について考える。</p> <p>3. 交通事故を起こした場合、社会的にどのような責任を負うことになる</p>	① ①			<p>・観察</p> <p>・観察</p>

	<p>か調べる。</p> <p>4. 交通事故を起こした場合の補償の事例と保険について調べ、社会的に負う責任の視点で意見交換する。</p> <p>5. 交通事故を起こした場合、社会的責任以外にどんな責任があるのか考える。</p>		①	②	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・ワークシート
3	<p>(ねらい) 安全な社会づくりには、環境の整備が重要であり、特に交通事故を防止するには、法的な整備、施設設備の充実、車両の安全性の向上などの対策が必要であることを理解できるようにする。</p>				
	<p>1. 近年我が国の交通事故が減少している要因や背景についてグループで話し合う。</p> <p>2. 我が国で行われている様々な交通安全に関する社会的な対策について調べ、整理する。</p> <p>3. より安全な交通社会を実現するためには、さらにどのような対策をすればいいのか考える。</p> <p>4. 交通事故のない安全な社会づくりについて理解したことを発表し、まとめる。</p>	②	②	③	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・ワークシート ・観察 ・ワークシート

8. 本時の目標

我が国における道路交通事故の現状を知り、具体的な事例を適宜取り上げ、事故には車両要因、主体要因、環境要因などが関連していることを理解できるようにする。また最終的には、様々な事故に対してこれらの要因を当てはめて考えることができるようにする。

9. 使用教科書・教材

大修館書店 保体 305 最新高等保健体育(改訂版)

大修館書店 保体 305 最新高等保健体育ノート(改訂版)

視聴覚教材 (パワーポイント)

10. 本時の展開

過程	学習内容・活動	指導上の留意点・評価
導入 5分	<p>1. 本時の内容や目標の確認</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・交通事故の現状を理解し、説明することができる。 ・交通事故の発生に関係する要因を例をあげて説明できる。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習のねらいを示し、本時の活動に見通しが持てるようにする。 ・ワークシート①を配布する。
展開1 10分	<p>2. 交通事故の現状および特徴を知る</p> <ul style="list-style-type: none"> ○わが国の交通事故の現状 ○若者の交通事故の特徴 ・ワークシート①を記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート①を用いてわが国の交通事故の現状について説明する。 ・教科書50ページの図1, 2を用いて若者特有の心理状態や事故の特徴を説明する。 ・評) 関・意・態①
展開2 30分	<p>3. 交通事故の要因を知る</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事例分析Ⅰ（個人） <ul style="list-style-type: none"> ・動画視聴およびワークシート②を読むことで、事故の状況を理解する。 ・事故が起きた要因について自分の考えをまとめる。(付箋に書き出す) ○事例分析Ⅱ（グループ） <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート③を用いてグループでそれぞれの意見を共有する。 ・グループの意見を類似した内容に分類する。 ・グループで出た意見の一つを全体に発表する。 ○事例における事故要因 <ul style="list-style-type: none"> ・事例の事故が起きた要因についての説明を聞き、事故の要因を理解する。 ・交通事故が起こる三つの要因（主体要因、環境要因、車両要因）について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート②を配布する。 ・交通事故の事例について、映像やワークシート②を用いて説明する。 ・事故が起こった要因について付箋に書き出すよう指示する。 ・ワークシート③を配布する。 ・5人グループを作り、話し合いを行うように指示する。(注意点や役割分担、手順など) ・話し合いで出た意見を全体で共有し、グループの中で出ていない意見があれば付箋に記入するよう指示する。 ・特定の生徒に発言が偏らないよう配慮する。 ・事例の事故が起きた要因について説明する。 ・交通事故には三つの要因が関わって起こるということを説明する。

	<p>○事例分析Ⅲ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで分類した意見が，主体要因，環境要因，車両要因のうち，どれに該当するか考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・机間巡視を行い，適切な要因に分類できるように助言を行う。 ・正しい分類について説明する。
<p>まとめ 5分</p>	<p>4. 本時の振り返り</p> <p>○まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート①を記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の内容について振り返り，重要な点を確認する。 ・評) 知・理① ・次時の内容（交通社会における運転者の資質と責任）に触れ，本時の内容との繋がりを理解できるようにする。